

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／生涯学習部図書館による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	読書活動事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	子どもの健やかな成長を図るため、子どもの読書習慣の定着に資する活動を推進する。	既存の事業に加え、生涯学習部内連携に参加し、部内連携の強化を図る事業を行った。	1：少し近づいた	継続	1,368	3,662	5,030	各課とも多忙な中、連携しようとする会議体が増え、さらに業務を圧迫する結果となっている。	令和6年度末に第4次子ども読書活動推進計画策定する中で、部内連携のありかた、学校連携のあり方の見直し、連携強化を図る。	
2	図書館運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館資料等の提供を通して市民の知る自由を保障するとともに、生涯学習を支援するため、図書館を運営する。	老朽化した図書館本館のあり方を見直すため、庁内検討委員会を立ち上げ、立地と複合化の可能性について検討した。	1：少し近づいた	継続	147,527	50,569	198,096	図書館のあり方を見直す必要があるかの議論からする必要があり、市の施策に位置付けられていない中の検討は困難を極めている。	各候補地の検証を進めるにあたり、それぞれの課が主体的に関わり、検討ができる体制の強化を目指す。	
3	図書館管理事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館の施設機能を保持するため、図書館施設を適切に管理する。	老朽化した設備の補修。	2：一定近づいた	継続	27,787	8,417	36,204	老朽化した施設の整備。	新図書館移行までに必要な改修などの見極め。	
4	公共公益施設整備基金積立事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館施設の整備のための資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	自動販売機設置スペースを民間事業者に貸し付け、その収益の一部を積み立てる。	1：少し近づいた	継続	46	73	119	事業の継続。	新たな事業者の確保。	
5	図書館管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	予算管理、文書管理、勤怠管理を行う。	5：達成した	継続	-	7,569	7,569	電子化の実施に伴う事務管理への移行。	文書の管理と方向性。	